

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------------------|------|-----|--------|------|------|----|-------------------------|---|---|
| 02AL401 | グローバル・フード・セキュリティディベート演習 | 1 | 2.0 | 1 | 秋ABC | 木7,8 | | グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員 | プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。要所で個別の講義も盛り込む。食料保障は世界レベルで相互依存となっていることの理解を深め、世界のフードセキュリティと持続性における国連のSDGs (Sustainable Development Goals) 達成に関連づけ世界規模課題について、多様な方向性と施策を議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、学生個々の深い研究課題と関連づけつつプログラム参加学生が幅広い知見の理解を醸成させる。 | 02AM401, 02AN401, 02AP004と同一。 英語で授業。 |
| 02AL402 | グローバル・フード・セキュリティインターンシップ | 3 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員 | グローバル・フード・セキュリティディベート演習による基盤理解ののち、学生が個別に農業開発について調査課題を起案設定し、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、課題調査(海外での調査を勧奨)を行い、報告会にて報告を行う。 | 02AM402, 02AN402, 02AP005と同一。 英語で授業。 |